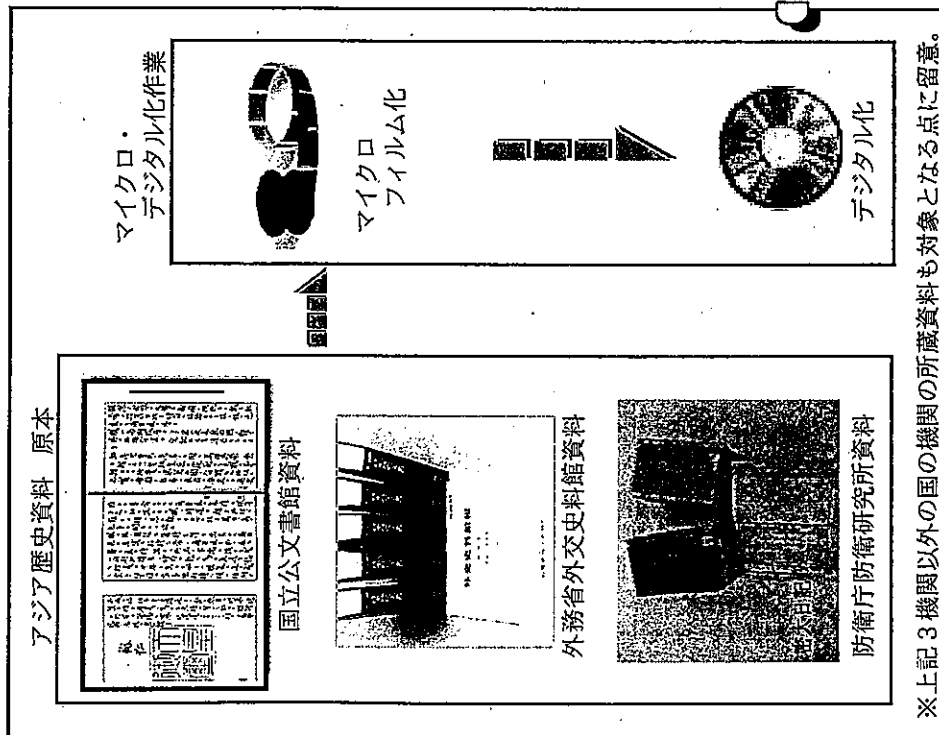


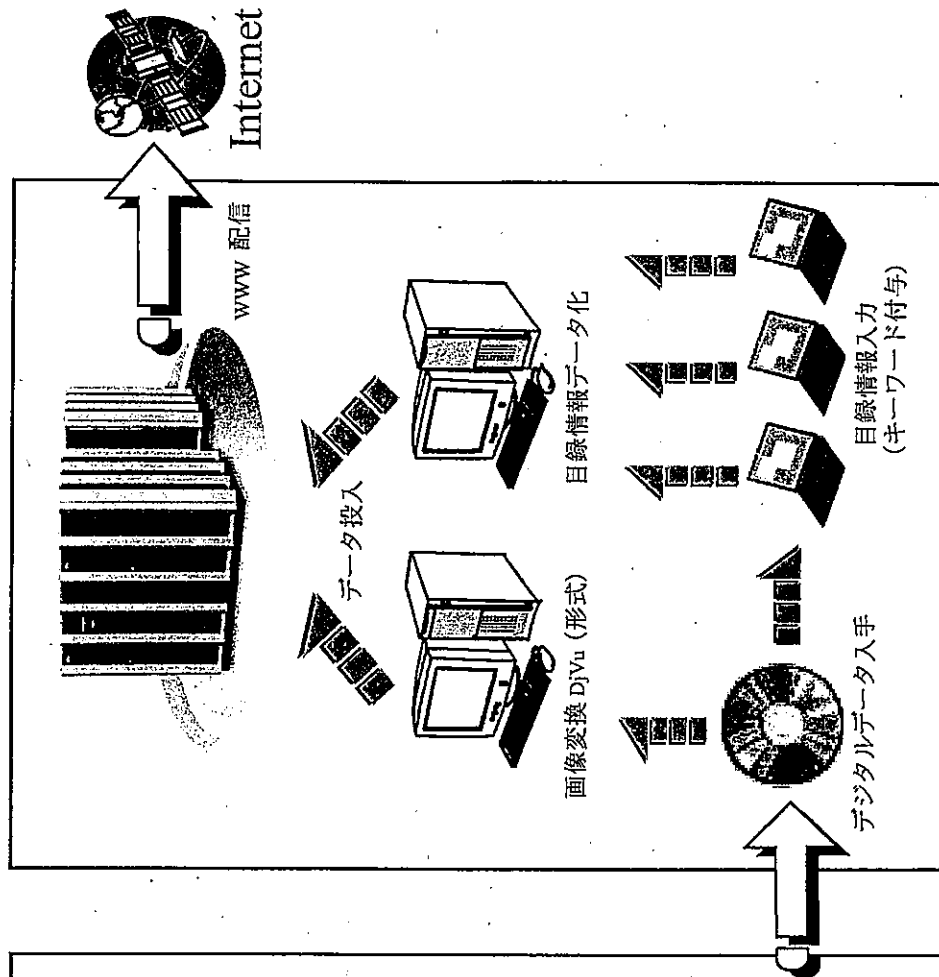
アジア歴史資料情報提供の流れ

アジア歴史資料所蔵機関



※上記3機関以外の国の機関の所蔵資料も対象となる点に留意。

アジア歴史資料センター



アジア歴史資料センターに対する3館の提供データ構築計画
(所蔵館担当者資料)

単位:コマ

	国立公文書館	外交史料館	防衛研究所図書館	合計 / 累計
H 12 (2000)	208,134	656,783	1,380,121	2,245,038
H 13 (2001)	672,673	638,887	724,267	2,035,827
H 14 (2002)	277,266	927,079	827,974	2,032,319
H 15 (2003)	922,970	852,800	1,256,678	3,032,448
H 16 (2004)	459,257	797,825	1,421,267	2,678,349
H 17 (2005)	489,766	558,864	759,621	1,808,251
H 18 (2006)	478,453	560,963	2,063,429	3,102,845
H 19 (2007)	462,642	750,467	1,322,508	2,535,617
H 20 (2008)	459,650	680,000	1,530,000	2,669,650
H 21 (2009)	450,000	680,000	1,530,000	2,660,000
H 22 (2010)	450,000	680,000	1,530,000	2,660,000
H 23 (2011)	450,000	796,000	1,530,000	2,776,000
H 24 (2012)				
H 25 (2013)				
H 26 (2014)				
Total	5,780,811	8,579,668	15,875,865	30,236,344

マーカー部分はアジア歴に提供された資料のコマ数

(注)

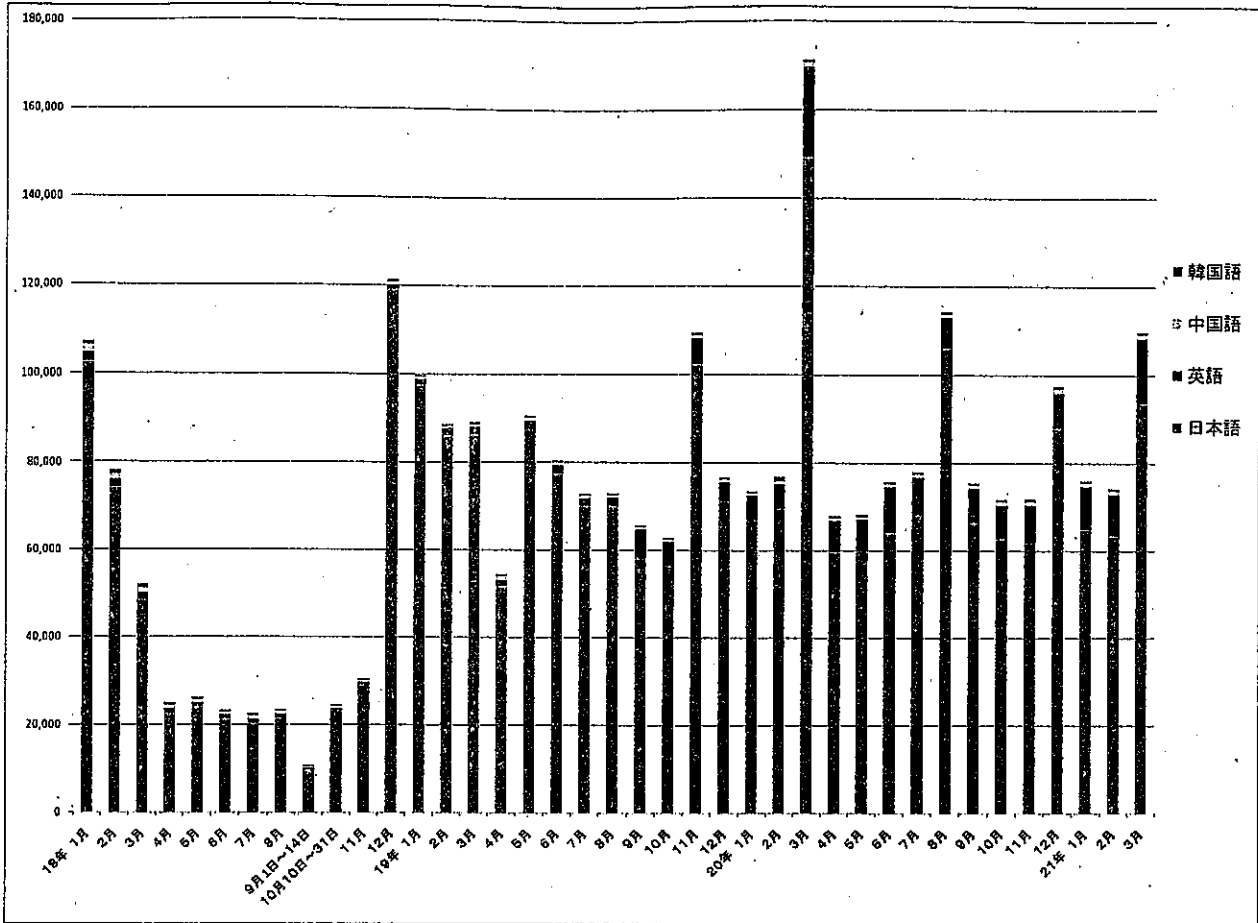
国立公文書館の資料はデジタル化と同年度内にアジア歴に提供され、外史・防研の資料は翌年度アジア歴に提供される。

アジア歴史資料センター・ウェブサイトアクセス状況

[資料4-3]

年/月	トップページ					特別展計	年間合計 (上段:トップページのみ) (下段:特別展を含む)
	日本語	英語	中国語	韓国語	計		
平成13年	10,998	-	-	-	10,998	-	10,998
14年	92,231	5,159	-	-	97,390	-	97,390
15年	228,529	45,099	-	-	273,628	-	273,628
16年	643,675	11,649	-	-	655,324	137,343	655,324 792,667
17年	1,113,539	19,984	6,476	4,580	1,133,523	300,390	1,133,523 1,433,913
18年 1月	102,649	2,181	1,372	838	107,040	34,527	544,646
2月	74,255	1,973	1,088	784	78,100	26,039	
3月	48,597	1,679	988	874	52,138	17,473	
4月	22,514	1,190	763	546	25,013	8,144	
5月	24,153	1,048	592	436	26,229	8,909	
6月	21,413	929	546	400	23,288	8,870	
7月	20,347	1,025	710	376	22,458	8,660	
8月	21,513	991	615	320	23,439	9,831	
9月1日~14日	9,766	477	322	142	10,707	4,892	
10月10日~31日	23,199	714	354	274	24,541	5,496	
11月	29,179	722	278	235	30,414	10,154	
12月	119,099	1,024	710	446	121,279	28,083	
19年 1月	97,622	1,228	447	381	99,678	13,884	963,037
2月	86,161	1,698	473	269	88,601	11,791	
3月	86,373	1,722	511	396	89,002	25,618	
4月	51,872	1,466	823	344	54,505	12,137	
5月	87,440	2,094	565	388	90,487	25,917	
6月	77,547	1,918	540	351	80,356	18,159	
7月	70,153	2,000	446	308	72,907	15,025	
8月	70,187	2,122	382	277	72,968	19,847	
9月	58,333	6,587	468	280	65,668	15,987	
10月	56,730	5,369	431	346	62,876	20,308	
11月	102,294	5,848	694	468	109,304	46,442	
12月	71,359	4,438	534	354	76,685	29,334	
20年 1月	67,181	5,674	433	353	73,641	20,150	1,042,856
2月	69,788	5,597	552	1,096	77,033	25,609	
3月	149,285	20,471	775	710	171,241	91,056	
4月	59,711	7,188	634	517	68,050	28,379	
5月	59,958	7,307	526	499	68,290	32,901	
6月	64,190	10,552	589	460	75,791	39,882	
7月	68,231	8,689	660	424	78,004	36,349	
8月	105,925	7,085	658	499	114,167	73,847	
9月	66,578	7,953	615	388	75,534	47,826	
10月	62,796	7,821	783	441	71,841	53,793	
11月	61,947	8,770	723	458	71,898	47,712	
12月	88,077	7,904	891	494	97,366	59,546	
21年 1月	65,081	9,819	735	460	76,095	43,713	260,079
2月	63,642	9,517	780	416	74,355	49,166	
3月	93,735	14,575	884	435	109,629	62,295	
合計	4,667,852	271,256	31,366	22,063	4,981,481	1,575,484	6,556,965

月別アクセス状況グラフ(平成18年以降)

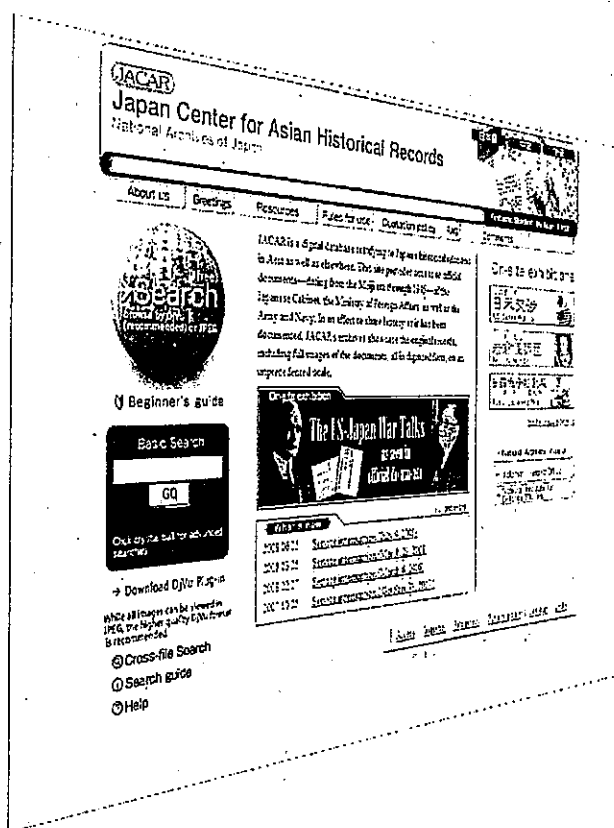


備考)

1. 平成18年3月13日から asahi.com にバナー広告掲載予定(1週間)。
2. 平成18年9月15日から10月9日の間、システム入替えのため、サービス停止。
3. 平成18年4月1日から11月30日までスポンサーサイト広告中断。
4. 平成18年12月1日から Overture (Yahoo!)系 および Adwards (Google)系スポンサーサイト広告を再開し、新たにGoogle.com (英語)にスポンサーサイト広告を開始。
5. 平成18年12月4日から 読売オンライン および 日経ネット にバナー広告(1週間)。
6. 平成19年3月19日「写真週報」特別展開始。
7. 平成19年3月17日午前中のNHKニュースで写真週報展を報道される。
8. 平成19年3月19日から 読売オンライン および asahi.com にバナー広告(1週間)。
9. 平成19年4月1日から11日までスポンサーサイト広告中断。12日に再開。
10. 平成19年5月18日「日露戦争」特別展(英語)及び「日米交渉」特別展(英語)を公開。
11. 平成19年5月28日から 読売オンライン および 日経ネット にバナー広告(1週間)。
12. 平成19年8月1日から31日の間、All About にタイアップ広告。
13. 平成19年8月から9月にかけてスポンサーサイト広告のgoogle.com分をチューニング。
14. 平成19年11月19日から読売オンライン及び日経ネットにバナー広告(1週間)。
15. 平成19年12月1日から31日、All Aboutとのタイアップ広告(12月5日～11日までは毎日jpにも掲載)。
16. 平成20年3月19日「条約と御署名原本に見る近代日本史」特別展開始。
17. 平成20年3月17日からYahoo!Japanに行動ターゲティング広告(2週間)。
18. 平成20年3月24日から読売オンライン および 日経ネット にバナー広告(1週間)。
19. 平成20年8月6日からYahoo!Japanの終戦特集に特別展のバナー掲載(9月2日まで)。
20. 平成20年8月18日から読売オンライン およびasahi.com にバナー広告(1週間)。
21. 平成20年10月1日から31日の間、All Aboutにタイアップ記事掲載。
22. 平成20年12月8日から読売オンライン およびasahi.com にバナー広告(1週間)。
23. 平成21年3月23日から読売オンライン およびasahi.com にバナー広告(1週間)。

Modern Japanese History at Your Fingertips

Visit World Unprecedented Digital Database



Japan Center for Asian Historical Records

is a database

of an unprecedented scale

focusing on modern Japan

and its relations with other countries,

particularly, in Asia.

In this online digital archive,

images of original, official documents

of the then Japanese Government,

including

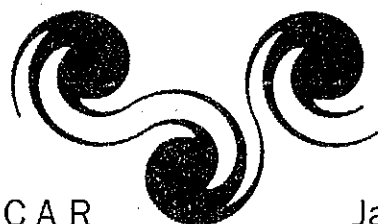
its Cabinet,

Ministry of Foreign Affairs,

Army and Navy

are made public.

<http://www.jacar.go.jp>



J A C A R

Japan Center for Asian Historical Records

Sumitomo Hanzomon Building, Annex 4F

2-1-2 Hirakawa-cho, Chiyoda-ku, Tokyo 102-0093, JAPAN

Tel. +81-3-3556-8801 Fax. +81-3-3261-1251

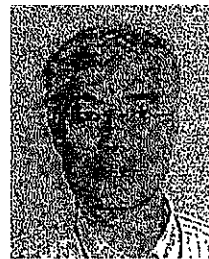
<http://www.jacar.go.jp>



武道と公文書

国立公文書館アジア歴史資料センター
調整専門官

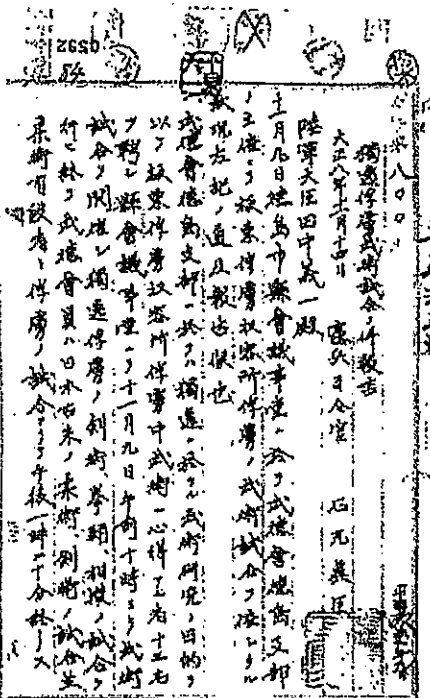
牟田 昌平



日本武道館がある北の丸公園に1971年に設立された国立公文書館の存在をご存じでしょうか。今年の1月18日の施政方針演説で、福田康夫首相は、昨年明るみになった国民年金記録のような国民の生命や財産に関わる貴重な文書の杜撰な管理に対して「言語道断」と叱責し、「国立公文書館制度の拡充を含め、公文書の保存に向けた体制を整備します」と表明しました。実

は国立公文書館は、省庁が作成した国民の生命や財産にも関わる重要文書などを保存公開する施設であり、「民主主義の根幹」を担う館なので

公文書館には、明治憲法や戦前の法律や勅令の原本だけでなく、昭和9年の外交文書には大日本武徳会の海外支部設立に関する陸軍文書の80



第一次大戦でのドイツ人俘虜との柔術大会を伝える、大正8年11月14日付の陸軍文書「獨逸俘虜武術試合ノ件」

には昭和4年の天覧試合に関する陸軍文書の80ページに及ぶ「御大禮奉祝武道大会委員選定の件」という文書もあります。これらの文書の画像は公文書館に設置されているインターネットサイト、アジア歴史資料センター(www.archives.go.jp)で見ることができます。内閣、外務省、旧陸海軍の明治初めから終戦までの公文書をだれもが自由に好きな言葉で検索し、その結果を電子画像として閲覧することが出来るサイトです。試しに「武道」で検索すると、134件ヒットします。ヒットした文書には、昭和14年に発布された勅令第八五一号「武道振興

委員会官制」をはじめ、昭和16年以降に作成された文書が多く含まれます。武道振興と当時の国策との関係を知る上でも貴重な文書類です。また、「武術」で検索すると、27件ヒットします。ただ、「武道」と異なり、古くは明治7年から昭和まで警察、外交、陸海軍の文書など幅広く使われていることがわかります。

その中に大正8年に作成された陸軍省の文書「獨逸俘虜武術試合ノ件」があります。この文書では、徳島武徳会が武術研究を目的に同地の板東俘虜収容所で「俘虜の武術試合」を催し、その中で「ドイツ人俘虜と日本人柔術有段者」とが試合し、結果、柔術有段者が勝ったことが報告されています。試合をした柔術家は戦後の柔道が歩んだ道を予言するように、「我國ノ柔術ヲ彼ノ体軀ノ強大ナル俘虜ニ教ヘタランニハ吾々日本人ハ勝ツコト容易ナラス今日吾々カ術ヲ以テ彼等ヲ自由ニ押込ミ得シモ若シ彼等ニシテ伎倆ヲ有スルトキハ体力ノ為ニ吾々ハ敗ケサルヘカラス」と感想を述べ、参加者は「彼等ハ欧州戦ノ敗者トナリシモ尚武ノ氣象ニ富ミ体力ノ鍛錬ニ努力シ武術ニ精勵セルヲ認メ大ニ感服」と述べ、敵国とはいえ人と人の生の触れ合いがあったことが窺えます。

公文書には武道や武術に関する色々な文書が残っています。まずはアジア歴史資料センターにアクセスして、ぜひ新しい発見をしてみてください。